

あとがき

先日「チョークトーク(chalk talk)」という言葉を知り初めて聞いた。プレゼンの方法はこの20年でずいぶん変わったものである。20年以上前に皮膚科に入院したとき(1985年)には、ブルースライドの時代であった。スライド原稿を写植に出して活字を組み、ブルーバックのスライドを作成する。スライドの原稿を一部変更すると、すべてやり直しなので、どんなに早くても2、3日かかってしまう。臨床スライド、病理スライドは、スライドに撮った原本を使用する。写真をいくつか組み合わせるのは、手作業であり、高等技術であった。留学しアメリカにわたった1990年代には、コンピュータでスライドを作成できるソフトがあることを知り、感激した。Persuasion,そしてPowerPointと、その後ソフトの進化とともに、よりきれいなスライドが短時間で、誰でもできるようになった。今、PowerPointのプレゼンが世界各国で学会発表の標準となっている。そして、最近では、静止画でなく動画も扱えるようになり、1つのプレゼンが供給する情報量は途方もない量となった。

そんな状況下で、ある最先端を走る研究室において、ラボミーティングでPowerPointは一切禁止で、「チョークトーク」で行うというのである。黒板にチョーク、あるいは白板に消せるマジックでポイントを書きながらプレゼンをする。電気泳動のバンドも、電顕の写真も、発表者が持っているイメージを手書きで書いていく。たくさんの情報があるなかで、本当に大切な重要なコア(核)となる情報は何か。PowerPointを用いてただ結果を機関銃のように並べ立てることにより、人をimpressさせることはできても、人にinformすることはできない。聞き手の側に立ってみると、チョークで大切な点を書いて話す程度のスピードでないと理解を進めながら考えて聞くことはできない。将棋の名人は、自分たちの前に盤がなくても、架空の盤を想像し、将棋を進めることができる。達人同士の会話には、共通の将棋盤さえ仮想できれば、道具は無用である。昔ながらのチョークトークの意味を再発見した思いである。

(天谷 雅行)

【顧問】

石川 英一
新村 真人
田上 八朗
西川 武二

【編集委員】

瀧川 雅浩
伊藤 雅章
塩原 哲夫
渡辺 晋一
天谷 雅行
中川 秀己

学会・研究会のお知らせ掲載

皮膚科関連学会・研究会のお知らせを無料で掲載いたします。開催期日(演題募集がある場合は締切日)の3か月前までに本誌編集室までお寄せください。

臨床皮膚科 (第63巻 第13号)

2009年12月1日発行(毎月1回1日発行)

定価2,835円(本体2,700円+税5%)

(2009年々ぎめ予約購読料 39,930円
電子ジャーナル閲覧オプション付
52,000円
増刊号を含む13冊・税込・送料小社負担)

(担当:小松原・安部)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5715

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinhifu@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- **JCOPY** <(株)出版者著作権管理機構 委託出版物>
本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は<http://www.igaku-shoin.co.jp>です。
- 「臨床皮膚科」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinhifu/>